

文教大学情報学部 社会調査 研究報告

大学生のコンビニ利用状況に関する調査

2013年2月

文教大学 情報学部 広報学科 3年

B0P11164 谷田部智子

目次

第1章 調査研究の概要

1.1 調査研究の目的と背景.....2

1.2 調査に関連する動向.....2

1.3 調査研究の方法.....5

第2章 調査研究の成果

2.1 調査回答者の概要.....7

2.2 コンビニの利用状況.....8

2.3 コンビニのすみわけ.....12

2.4 コンビニ利用と世帯状況.....13

2.5 コンビニ利用と性差.....16

第3章 まとめと今後の課題.....20

参考文献.....21

単純集計結果.....22

第1章 調査研究の概要

1.1 調査目的と背景

私はセブンイレブンでアルバイトをしているので、どのような商品がどんな年齢層に売れるのか興味がある。例えば、私がアルバイトをしているのは平日の朝6時～9時なのだが、その時間帯のお客さんは会社に行く前のサラリーマンや工事現場で働く人が大半だ。8割方は男性であり、たばこ、飲み物、お弁当、雑誌がよく売れる。しかし、たまに休日の朝同じ時間帯にアルバイトをすると、客層は平日の朝とは異なってくる。主婦や遊びに行く前の家族連れ、お年寄りが多くなり、サラリーマンはあまり来ない。お客さんの数も平日より少ないのだ。このように同じ時間帯でも平日か休日かによって客層や客数、売れる商品は変わってくる。季節や気温、天候によっても異なるはずだ。私は早朝の時間帯にしかアルバイトをしないのだが、お昼や夕方、深夜などの時間帯によってももちろん違ってくるだろう。そこで、私と同世代の大学生はどの時間帯にコンビニに行き、どのような商品を買うのかが気になった。

文教大学にはファミリーマートがあるが、私は学校に行く日はほぼ毎日寄ってしまうし、お昼にお弁当や飲み物を買っている友達も多い。大学生にとって、コンビニはとても身近で重要な役割を果たしているように見える。大学生はどのような理由でコンビニに行き、どのような商品を好んで購入しているのだろうか。また、コンビニと言っても様々なチェーン店があり、どのコンビニが人気なのかも知りたい。

そこで、文教大学のコンビニ利用状況やイメージを調査することにした。

1.2 調査に関連する動向

コンビニエンスストア(convenience store)とは、飲食料品を扱い、売り場面積30平方メートル以上250平方メートル未満、営業時間が1日14時間以上のセルフサービス販売店のことである。ここで意味するセルフサービスとは、顧客が商品を直接手に取って選び、短時間・低価格で買い物ができるようにした販売方法のことを指し、この販売方式はスーパー、デパートと同じである。

現在、日本のコンビニエンスストアのチェーン店はたくさんあるが、今回は店舗数順位による主要チェーン6店舗について調査したいと思う。1位はセブンイレブン(セブン&アイ系列)約1万3200店。2位はローソン(三菱商事系列)約1万店。3位はファミリーマート(伊藤忠商事系列)約8500店。4位はサークルKサンクス(伊藤忠商事系列)約6200店。5位はミニストップ(イオン系列)約1900店。6位はデイリーヤマザキ(山崎製パン系列)約1600店である。なお、売上高順位もこの店舗数順位と同じになっている。

主要チェーン	6店舗数順位	店舗数
1位	セブンイレブン(セブン&アイ系列)	約1万3200店
2位	ローソン(三菱商事系列)	約1万店
3位	ファミリーマート(伊藤忠商事系列)	約8500店

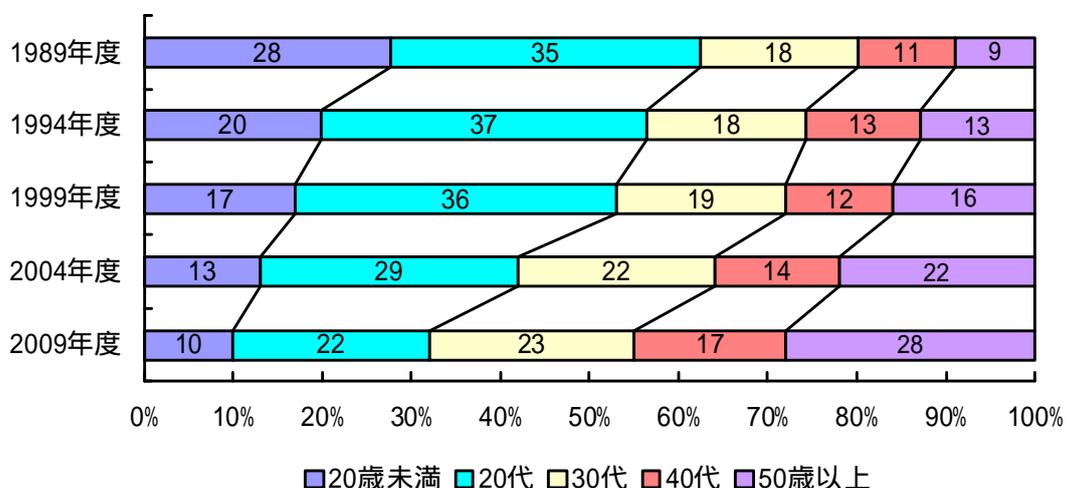
- 4位 サークルK サンクス(伊藤忠商事系列)約 6200 店
 - 5位 ミニストップ(イオン系列) 約 1900 店
 - 6位 デイリーヤマザキ(山崎製パン系列) 約 1600 店
- (2011年4月時点)

コンビニの主な取り扱い商品には、飲食料品、生活用品、事務用品、娯楽用品、医薬品、季節限定商品などがある。また、主なサービスとして、宅配便、郵便事業、イベントチケット、交通機関乗車券類の予約・発券、コピー機・FAX、写真現像、プリペイドカード・金券の販売、コンビニ ATM、各種料金収納代行などがある。このように挙げていくと、商品を買うことから始まり宅配便に至るまで、コンビニでできることは実に様々である。消費者にとって、コンビニの名前通り便利であることを実感する。

コンビニには約 3000 品近くの商品が陳列されているが、売り上げの 70%以上は飲食料品が占めている。その飲食料品の中でも、コンビニの売り上げは新商品と定番商品に支えられている。定番商品とは長年売れ続けている商品のことで、伊藤園の「おーいお茶」、日清の「カップヌードル」などがこれにあたる。これらの商品を常に欠品がないように管理するのも大事だが、年間約 7 割の商品が入れ替わるコンビニにとって新商品はとても重要である。まず、単品管理で売れずに廃棄処分になってしまう商品を探し、陳列棚から撤去する。次に新商品を発注し、商品につける POP や店員の声掛けで新商品のプロモーションをする。それから販売動向をチェックし、売れていなければ販売中止、売れ行きが良ければ発注を継続する。その後は欠品が出ないように注意する、といったような流れでコンビニは新商品を導入している。しかし、売れる商品もあれば当然売れない商品もある。その見極めをすることが重要になってくるが、どのような商品が売れるのだろうか。

長い間、コンビニの利用客は 20 代の男性が中心であった。現在もそのようなイメージが強いかもしれないが、データを見るとそうではないことがわかる。セブンイレブンの来客数を年齢別にすると、2004 年度の時点では 20 代が 1 番多く来店していた。その中でも未婚の男性の来客数が 1 番多く、次に既婚男性、未婚女性と続く。しかし、少子高齢化が進んでいき、2009 年度には 50 歳以上が来客数トップになってしまった。さらに、同じ 2009 年度に 20 代は 30 代にも来客数を抜かれており、トップから一気に 3 番目まで落ち込んでしまっている。20 代の来客数は年々減少の一途を辿っているのがわかる。

図 年齢別の1日1店舗あたりの平均客数



出典：セブンイレブン・ジャパン来店客調査

こちらはセブンイレブンのデータであるが、どのコンビニでもこのような傾向は見られるのではないかと私は考える。50歳以上の来客数が増えるにつれて、コンビニは若者だけでなく、高齢者もターゲットに入れるようになった。このため、舌の肥えた中高年に合わせて食料品の原材料を自社で開拓したり、以前は見られなかった生鮮品や、調理の下ごしらえが済んだ食材をパック詰めしたキット食品などを販売したりしている。主に若者をターゲットとした、買ってすぐ食べられる中食食品とは真逆の商品展開である。また、車いすに乗った人や杖をついて歩く人のことを考えて、通路の幅を120センチに広げたり、店内のトイレに手すりをつけたりするなど、高齢者が店内を使いやすいように気を配っている。さらに、以前は若い男性向けだったコンビニは、高齢者だけでなく女性客の獲得にも力を入れ始めた。デザートを充実させたり、健康志向のカロリーが低いお弁当などを販売したりするようになったのである。このように、来客層の変化とともに需要にあった戦略を取ることは重要だ。しかし、20代の若者のコンビニ離れが進むと、その子どもたちの世代もコンビニを利用するという習慣がなくなってしまう。こうなってくるとコンビニ業界の未来は危うい。現に、20代の来客数とともに20歳未満の来客数も年々落ちている。このデータを見て、コンビニがこのような現状におかれている今こそ、若い世代がもう1度コンビニに戻ってきたくなるような商品開発や販売戦略が必要なのではないかと感じた。そこで私は、20代真ただ中である大学生を対象にコンビニに対する調査を行い、どのような商品が若い世代に売れるのか、どのような環境を整えれば若い世代のコンビニ利用率が上がるのかを調査したいと思う。

1.3 調査研究の方法

(1) 進捗経緯

4～5月	調査テーマ討論
6月	調査テーマ決定・調査テーマ具体化
7～9月	討論・調査表作成
10～11月	調査実施・回収・単純集計報告
12～2月	報告書作成

(2) 調査の概要

a. 調査の意図

b. 調査対象者

文教大学湘南キャンパス学生

c. 調査方法

授業時間内にアンケート用紙配布・回収

d. 主な質問項目

- ・よく行くコンビニの有無
- ・どのコンビニが好きか
- ・好きなコンビニの有無
- ・どのコンビニが好きか
- ・行く時間帯
- ・行く頻度
- ・1回あたりに使用する金額
- ・購入する商品
- ・重視する点
- ・購入する商品によってコンビニを使い分けるか

e. 依頼数と回収数

	依頼数	回収数
新聞論	69	69
プロモーション・デザイン論	36	36
計	105	105

仮説

- ・おにぎりやお弁当、飲み物など、食品を購入する人が多い。

どのような商品を購入するのかを知ることで、大学生にどの商品が人気かわかる。

- ・店舗数の多いセブンイレブンの利用数が一番多い。おにぎりやお弁当を購入する時はセブンイレブン、デザートを購入する時はファミリーマートなど、消費者はコンビニによって使い分けをしている。

どの商品が欲しい時にどのコンビニに行く傾向があるのかがわかる。

- ・女性より男性の方がコンビニの利用率が高い。

コンビニの利用率で男女差が表れるのか。また、男性と女性で好きなコンビニの傾向は異なるのか。

- ・よく行くコンビニは行きやすさ重視、好きなコンビニは食品重視

第2章 調査研究の結果

2.1 調査回答者の概要

調査対象者は、文教大学湘南校舎の学生 105 名で、「新聞論」「プロモーション・デザイン論」の計2クラスで、紙面によるアンケート調査を実施した。

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいたために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分析を、表 2-1-1 で確認しておく。表 2-1-1 の性別の分布では、これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較

	男子	女子	計
回答者	39.0 (41)	61.0 (64)	100.0 (105)
湘南キャンパス学生	50.4 (1745)	49.6 (1714)	100.0 (3459)

2.2 コンビニの利用状況

図1 よく行くコンビニの有無

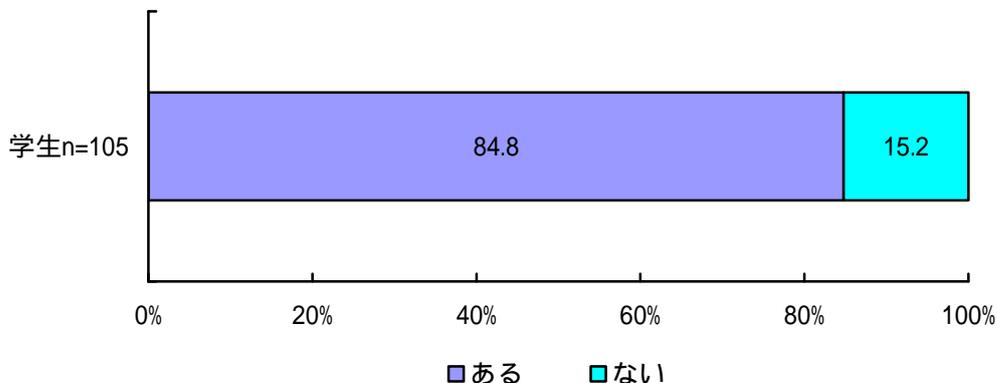
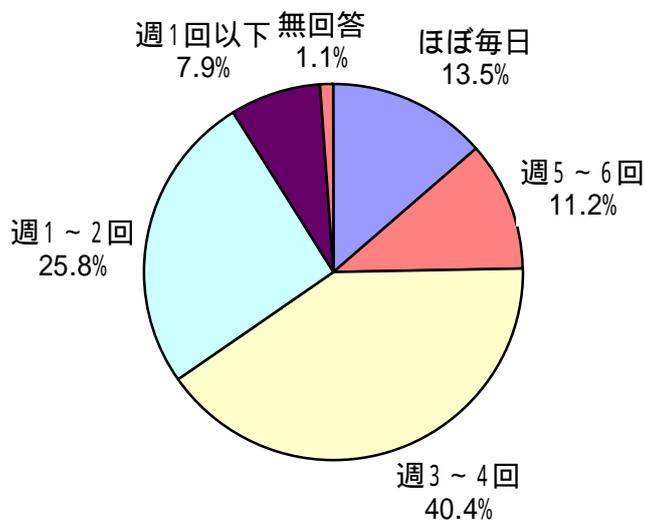
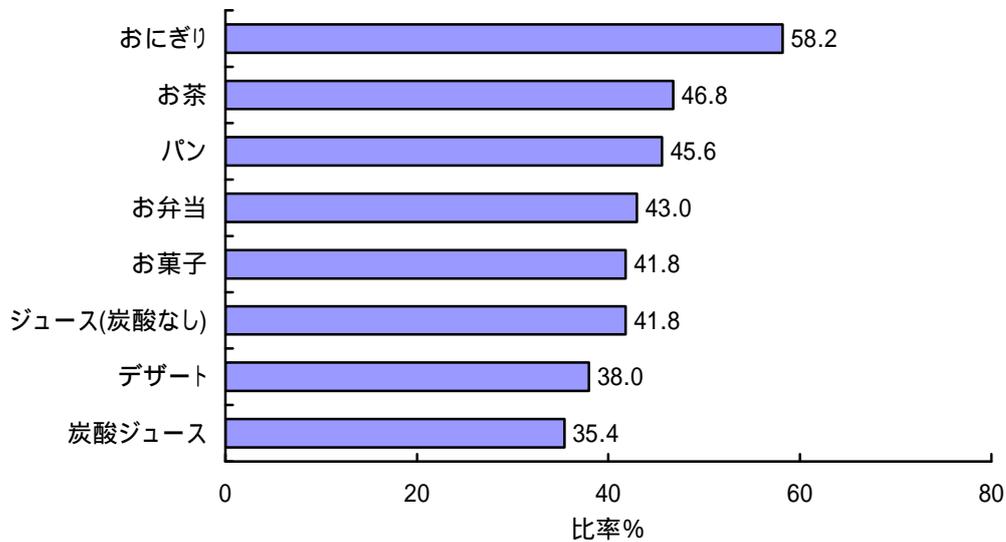


図2 コンビニに行く頻度 (n=89)



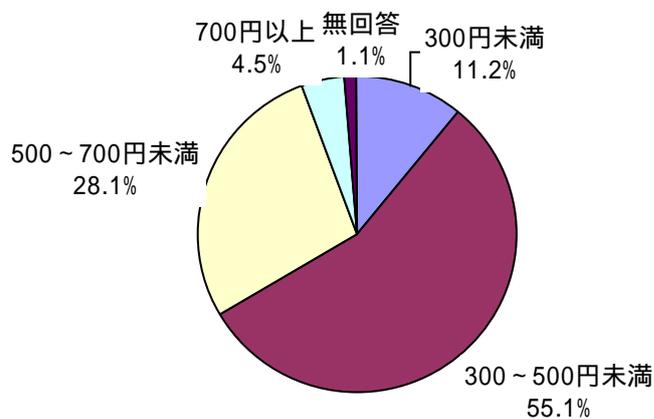
はじめに、よく行くコンビニがあるかどうか調査したところ、8割以上の学生が「ある」と回答した(図1参照)。そのうち、よく行くコンビニに行く頻度が「ほぼ毎日」と「週5~6回」の学生が合わせて全体の約4分の1を占めている。さらに4割の学生が「週3~4回」の割合でそのコンビニを訪れている(図2参照)。

図3 コンビニで購入するもの(n=79)



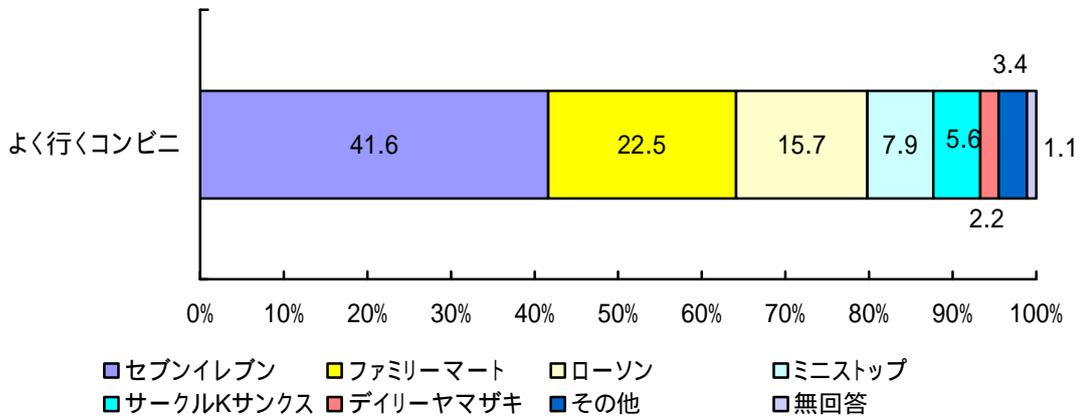
大学生はコンビニで何を購入しているのか調査したところ、おにぎりが約 6 割で一番多かった。その次にお茶、パン、お弁当と続く。さらにお菓子やジュース、デザートが続き、食事の次に間食を多く買う傾向にあるようだ。

図4 コンビニで1回あたり使う金額(n=89)



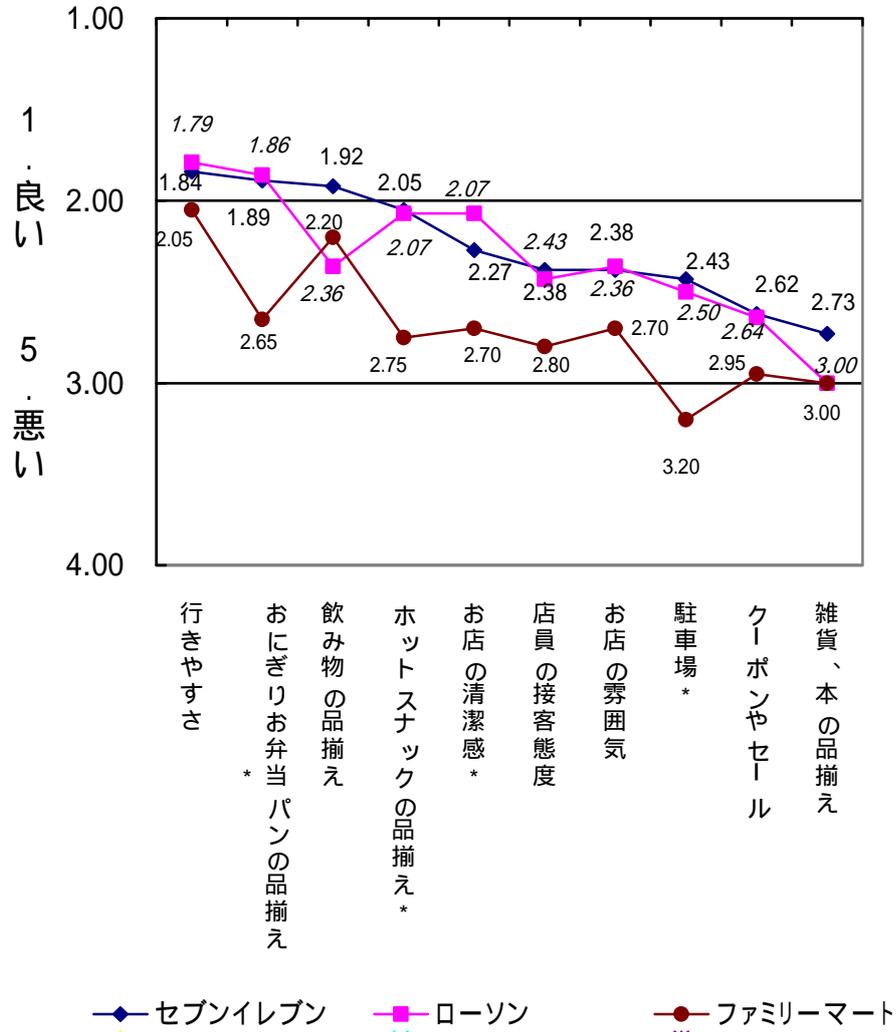
大学生がコンビニで1回あたり使う金額は「300~500円未満」が半数以上であり、「500~700円未満」が約3割だった。図3より、購入するものはおにぎりやお茶、パンなどが多いようなので、だいたい一食分の食べ物と飲み物を買ったと300~500円程度に収まるのだろう。

図5 よく行くコンビニ(n=89)



よく行くコンビニはセブンイレブンが 40%以上と他のコンビニに大きく差をつけた。そのあとはファミリーマート、ローソンの順に人気が続く。日本国内でコンビニ店舗数トップを誇るセブンイレブンがダントツだったが、2位はローソンよりも店舗数の少ないファミリーマートだった。立地条件にもよるかもしれないが、店舗数だけではなくコンビニ別の好みも影響しているようだ。

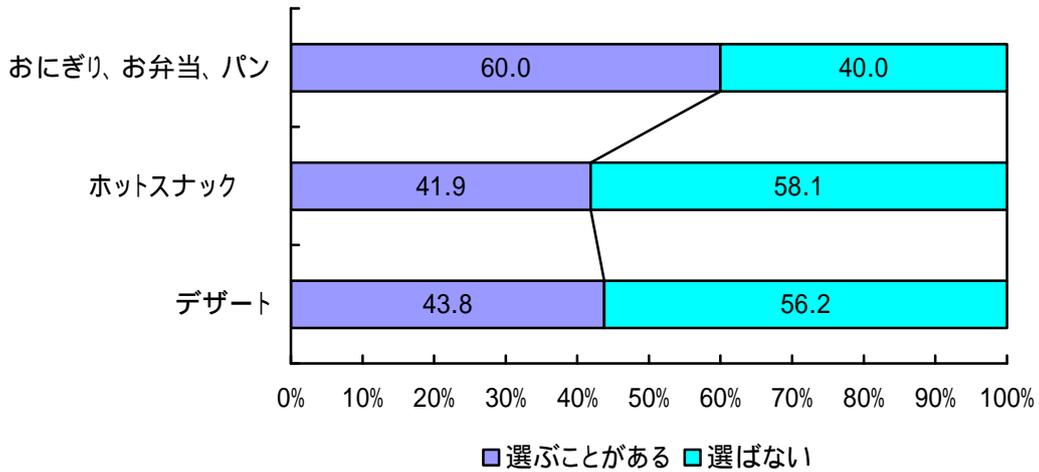
図6 よく行くコンビニ3区分とそのコンビニに対する評価(n=89)



よく行くコンビニをセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの3区分に分け、よく行くコンビニに対する評価とグループの平均を行った。有意差が出ているのは「おにぎり、弁当、パンの品揃え」「ホットスナックの品揃え」「お店の清潔感」「駐車場」の4項目だった。いずれもファミリーマートが1番低評価という結果になり、「おにぎり、お弁当、パンの品揃え」と「お店の清潔感」に関してはセブンイレブンの評価が1番高く、「ホットスナックの品揃え」と「駐車場」に関してはローソンが高評価という結果となった。セブンイレブンとローソンの結果が拮抗しているのに対し、ファミリーマートは全体的に評価が低い結果となった。

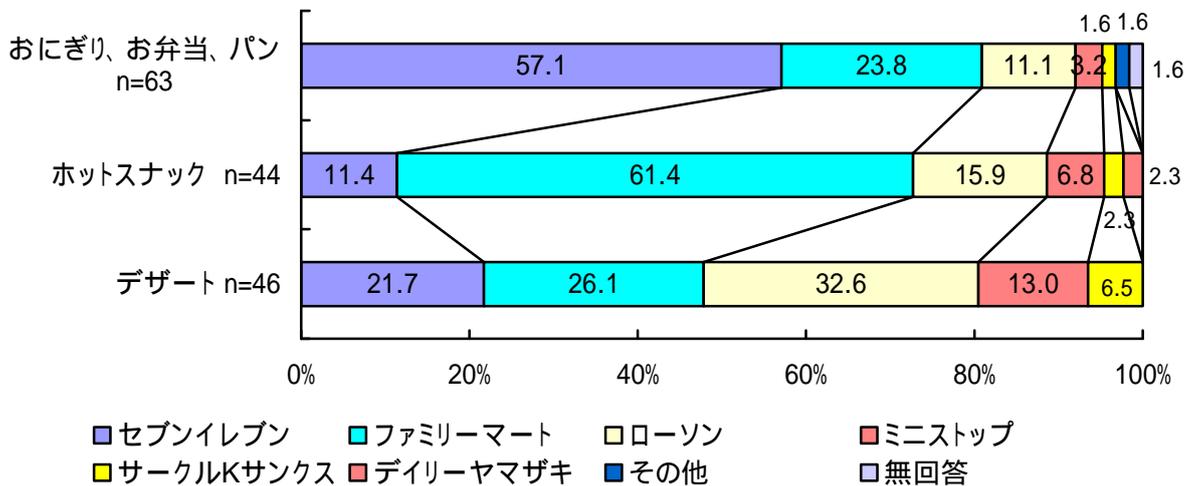
2.3 コンビニのすみわけ

図7 購入するものによってコンビニを選ぶかどうか(n=105)



消費者が買うものによってコンビニを使い分けしているかを調査した結果、おにぎり、お弁当、パンに関しては半分以上の人がコンビニを選ぶことがあると回答した。ホットスナックとデザートに関しても、4割以上の方が使い分けをしていることがわかった。では、どのように使い分けしているのかを詳しく見てみたいと思う。

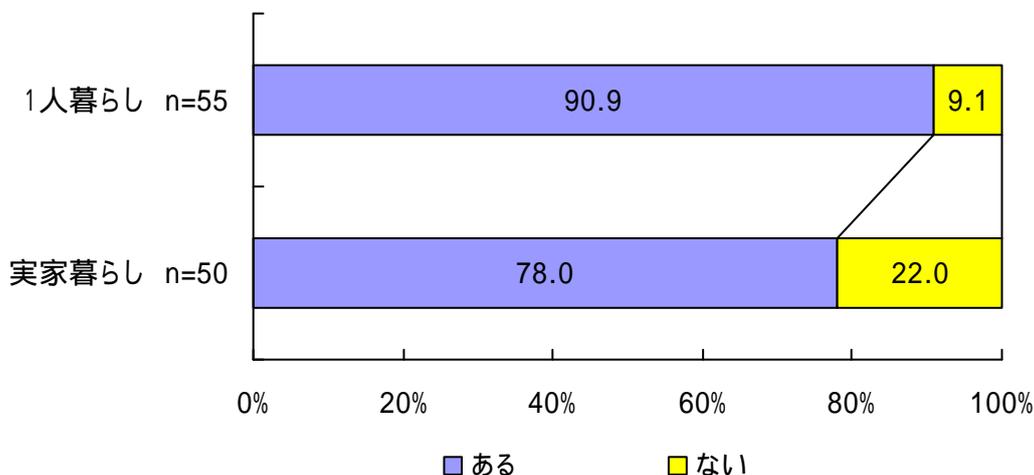
図8 購入するものとコンビニのすみわけ



おにぎり、お弁当、パンに関してはセブンイレブンが6割近くも支持を集めている。しかし、ホットスナックはファミリーマートが強く、6割以上も支持されている。デザートはそこまで大きな差はないが、ローソンが3割超えて1番人気だった。この結果から、消費者は購入する商品によってコンビニを使い分けしていることがわかった。

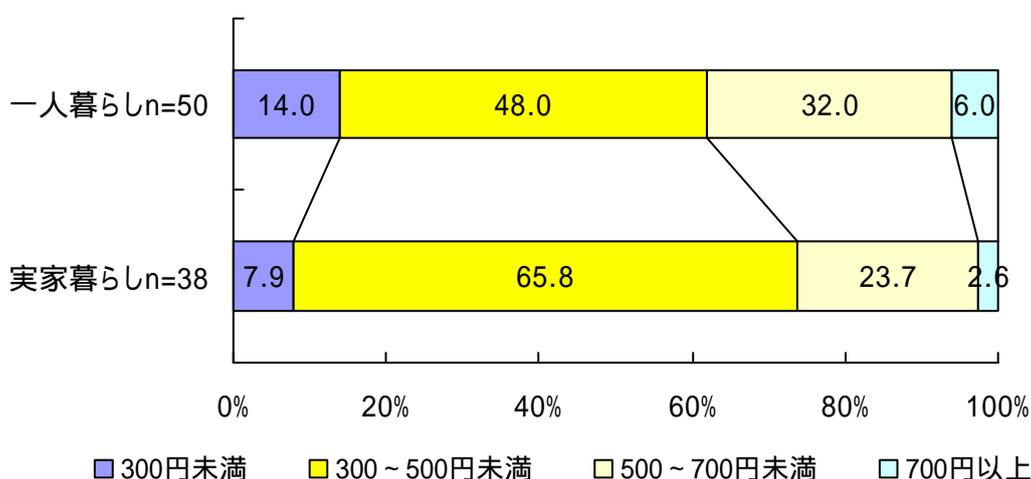
2.4 コンビニ利用と世帯状況

図9 よく行くコンビニの有無と世帯状況



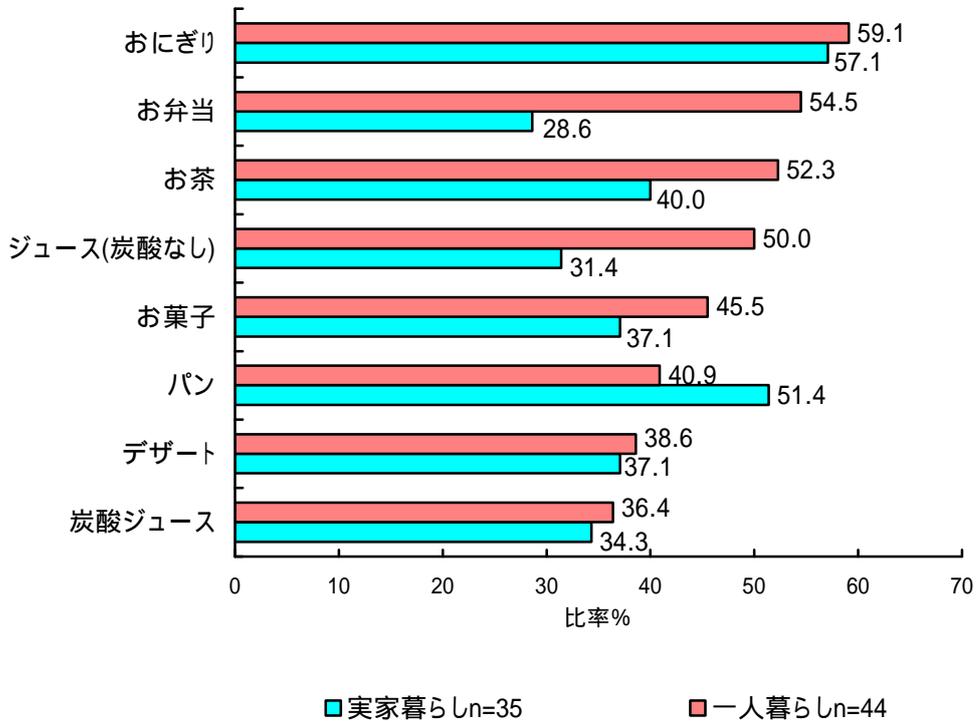
また、世帯状況によってコンビニの利用率が違うのかも調べてみた。その結果、1人暮らしをしている学生は9割以上がよく行くコンビニがあると答えた。実家暮らしの学生も8割近くがよく行くコンビニがあると答えているが、やはり1人暮らしの学生ほど利用率は高くないようだ。1人暮らしは実家暮らしに比べ、食事の面や買い物の面で頼る人がいないので、近所のコンビニで済ませる人が多いのかもしれない。

図10 コンビニで使う金額と世帯状況



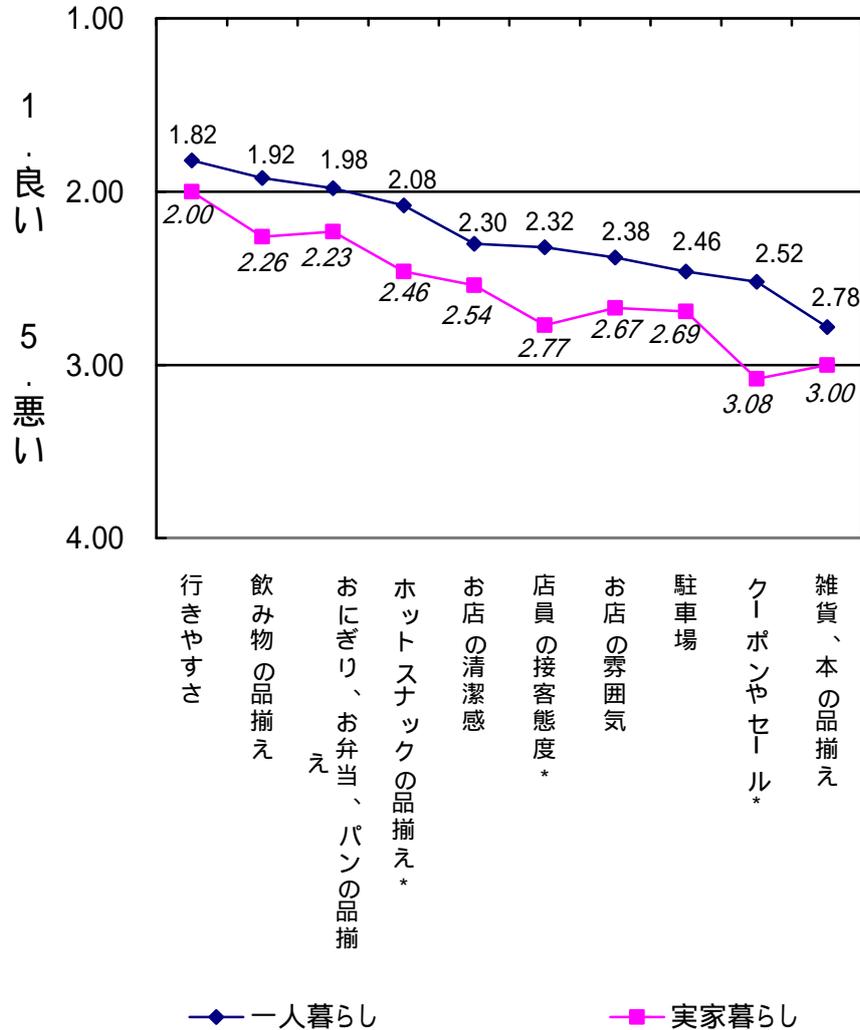
一人暮らしと実家暮らしでは、コンビニで使う金額に差が表れた。実家暮らしの人は300～500円未満の人が7割近かったが、一人暮らしの人は500～700円未満の人が3割を超えていて、700円以上使う人も実家暮らしの人の2倍以上だった。一人暮らしは実家暮らしに比べて、コンビニでお金を使う額が大きいようだ。

図11 購入するものと世帯状況



購入するものを調べてみると、パン以外は実家暮らしより一人暮らしの方が購入する人が多かった。特にお弁当の差は著しく、一人暮らしは購入する人が 5 割を超えているのに対し、実家暮らしは 3 割にも満たなかった。実家暮らしはご飯を作ってくれる家族があるのでコンビニのお弁当に頼ることは少ないのかもしれない。一方、一人暮らしはコンビニのお弁当で済ませてしまう人も多いのだろう。

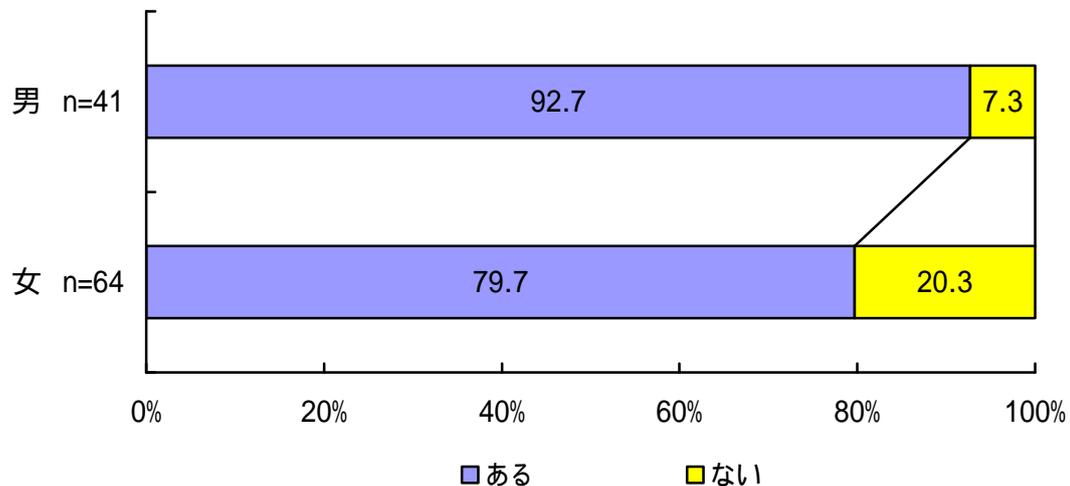
図12 コンビニに対する評価と世帯状況(n=89)



コンビニに対する評価は、すべての項目において実家暮らしより一人暮らしの方が高かった。特に差がついたのは「ホットスナックの品揃え」と「店員の接客態度」、「クーポンやセール」である。全体的にコンビニに対する評価が高いことから、一人暮らしの方がコンビニ好きだということが伺える。

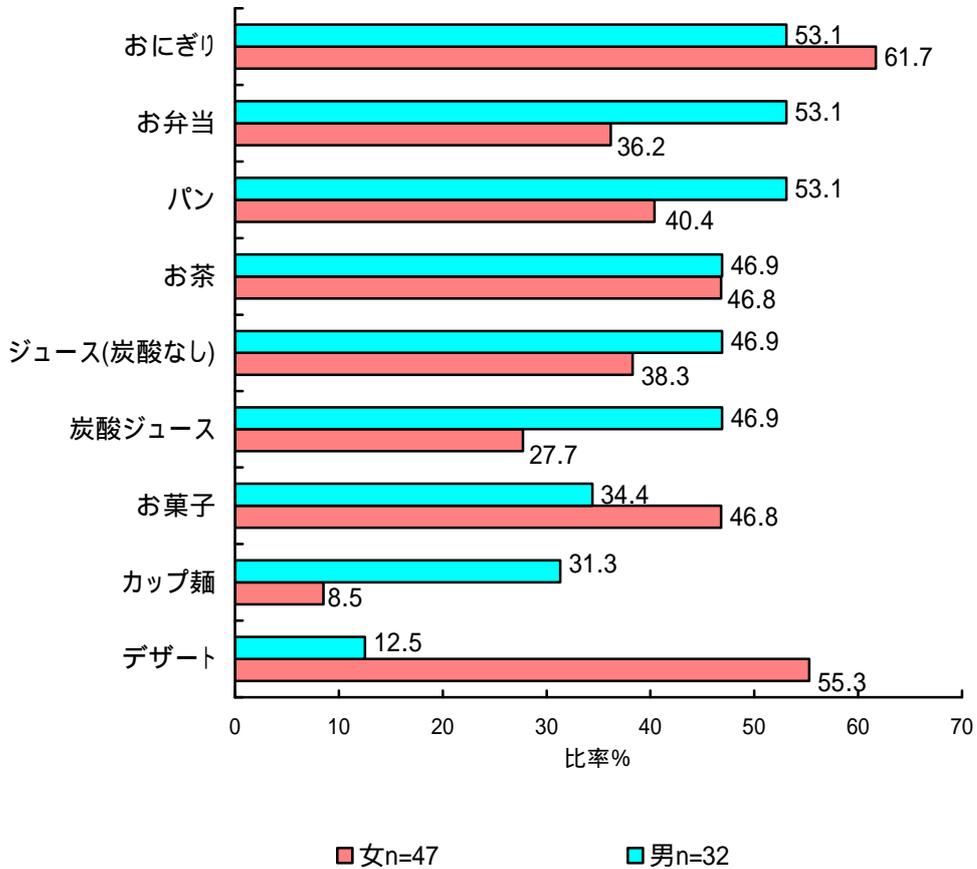
2.5 コンビニ利用と性差

図13 よく行くコンビニの有無と男女差



コンビニの利用率の違いで、男女の差があるか調べてみた。すると、よく行くコンビニがあると答えた学生は、女子の約8割、男子の9割以上にも上った。男子の方がコンビニの利用率は高いことがわかったが、女子も比較的多く利用していることがわかった。

図14 購入するものと性差



購入するものと性差の違いを調べると、男性は炭酸ジュースを購入する人が半数近いのに対して女性は 3 割にも満たない。さらに、カップ麺を購入する男性は女性よりおよそ 4 倍多い。男性の方がよりジャンキーなものを好む傾向にあることがわかる。そして一番著しい差がついたのがデザートで、女性は半数以上が購入すると答えているのに対して、男性は約 1 割しか購入しないようだ。お菓子も男性より女性の方が 10%以上購入する人が多かった。女性は甘いものが好きな人が多いので、このような結果になったのではないかと分析する。

図15 デザート購入時コンビニを選ぶかどうか

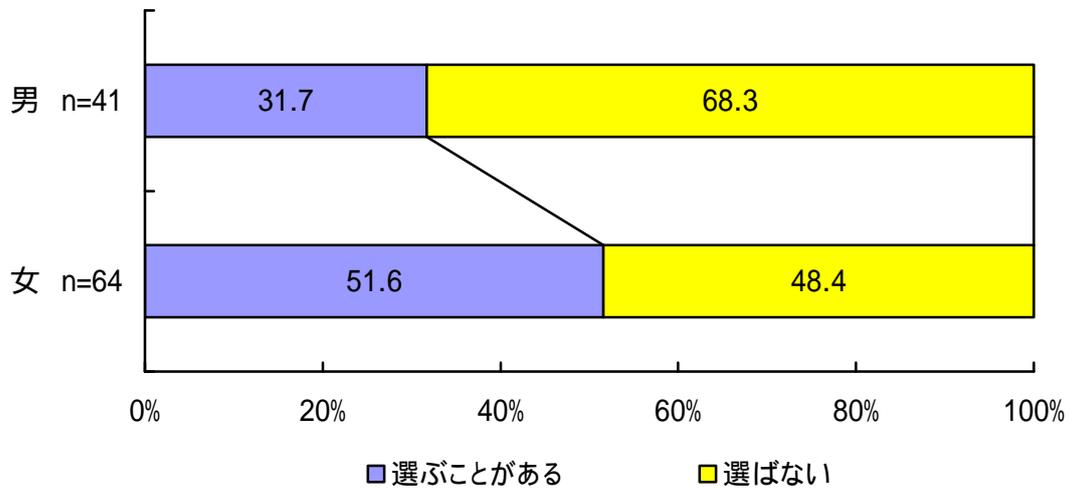
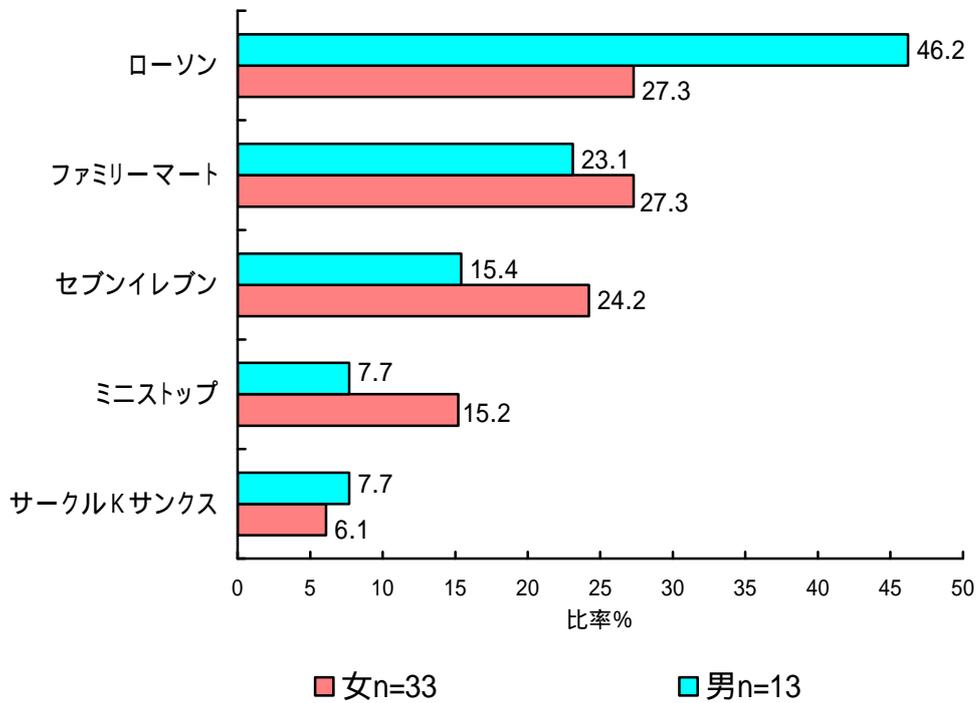


図 14 で示した通り、女性の方が男性に比べて甘いものを購入する人が多かったので、デザートを購入する時のこだわりが強いのではないかと考えた。そこで、デザート購入時にコンビニを選ぶことがあるかどうか分析したところ、「選ぶことがある」と答えた女性は半数を超えた。男性は 7 割近くが「選ばない」と答えているのだが、女性はコンビニを選んでデザート購入していることが多いようだ。では、どこのコンビニのデザートが人気なのだろうか。

図16 デザート購入時に選ぶコンビニ



デザート購入時にコンビニを選ぶことがあると答えた人の中で、男性は約半数がローソンを選ぶ結果となった。一方、女性はローソン、ファミリーマート、セブンイレブンに好みが分かれ、あまり差はつかなかった。ローソンのデザートと言えば、プレミアムロールケーキがモンドセレクション金賞を受賞するなど、注目を集めている。この大ヒット商品が男性の人気を掴んだ理由の一つかもしれない。男性の倍以上差をつけて女性の支持を受けたのはミニストップだ。ミニストップはソフトクリームやサンデーなどを店頭で作ってくれ、飲食ができるスペースが用意されているので、カフェ感覚で好んで利用する人が多そうだ。

第3章 まとめと今後の課題

今回の調査から、大学生はコンビニ利用率が非常に高いことがわかった。性差や生活環境に多少の差は見られたものの、コンビニをよく利用する大学生は多いようだ。購入するものはおにぎり、お弁当、パンなど、昼食や夕食であることがほとんどだった。また、お茶などの飲み物や、デザートやお菓子の購入も多いことがわかった。コンビニで1回あたり使う金額は「300～500円未満」と答えた人が半数以上で、一食分の食べ物と飲み物を買う値段だということが伺えた。「よく行くコンビニはどこか」という質問では、セブンイレブンと答えた人が4割以上で、セブンイレブンの人気が高いことがわかった。

そして、今回の調査での一番の収穫は、コンビニの使い分けが行われているという結果だ。お弁当、おにぎり、パンを購入する時はセブンイレブン、ホットスナックを購入する時はファミリーマート、デザートを購入する時はローソンなど、結果が顕著に表れた。私の周りでは、「お弁当とおにぎりはセブンイレブンが美味しい」と言っていた人が多かったので実際に調査してみたところ、「お弁当、おにぎり、パン購入する時はセブンイレブンを選ぶ」と答えた人が約6割もいた。したがって、お弁当、おにぎり、パンはセブンイレブンの強みであることがわかった。一方、ホットスナックを購入する時はファミリーマートを選ぶ人が6割以上いた。ファミリーマートでの代表的なホットスナックと言えば「ファミチキ」だが、この商品が人気の理由なのだろうか。ローソンではデザートが支持されており、3割以上の方がデザートを買う時ローソンを選ぶと答えていた。私もローソンの「プレミアムロールケーキ」が好きで、ローソンに行くときつい買ってしまふ。常に売っているプレーンとチョコレートの他に、季節ごとに期間限定の味が発売されるところも人気の秘訣かもしれない。

また、世帯状況によりコンビニ利用状況に大きく差が出た。一人暮らしの人の方が実家暮らしの人よりコンビニで使う金額もコンビニに対する評価も全体的に高かった。一人暮らしの大学生はコンビニに行くことが多く、食事面などで大きく頼っていることが伺えた。スーパーと違って24時間営業ということもあり、バイトや遊びで帰りが遅くなる大学生にコンビニは便利なのだろう。コンビニは一人暮らしの大学生にとって重要な役割を果たしていることがわかった。

コンビニと性差についても顕著な違いが見られ、女性はデザートにこだわりがあることがわかった。また、男性の方がコンビニを利用するイメージがあるが、「よく行くコンビニがある」と答えた女性は8割近くもいた。男性だけでなく、コンビニは女性からも高い支持を得ているようだ。

今回、大学生のコンビニ利用状況について調べてみたところ、大学生はコンビニを利用することが多いということがわかった。さらに、世帯状況の差や性別の違いでは興味深い結果が表れた。そして、「購入するものによってコンビニを使い分けている」という仮説が証明されたことが今回の調査の一番の収穫だったと感じた。今後は、「なぜコンビニを使い

分けるのか」、「ホットスナックを買う時ファミリーマートを選ぶのはなぜか」、「ファミリーマートの評価が全体的に低いのはなぜか」などの理由を解明していきたい。

参考文献リスト

「公共空間としてのコンビニ」驚楽力 2008年発行 朝日新聞出版

「コンビニ業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本」根城泰 2006年発行 秀和システム

「なぜ毎日コンビニで買ってしまうのか？」漆原直行 2008年発行 マイコミ新書

「セブンイレブン 高収益・高集客の法則」国友隆一 2005年発行 ぱる出版

コンビニエンスストア <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

セブンイレブン・ジャパン「来店客調査」

http://www.7andi.com/ir/pdf/corporate/2011_07.pdf#search=

コンビニエンスストアに関する調査

2012.10

情報学部 広報学科 BOP11164 谷田部智子

「社会調査」の授業のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

問1 あなたは学内のコンビニ以外でよく行くコンビニがありますか。(1つに) n = 105

1. はい	84.8	2. いいえ	問9へ	15.2
-------	------	--------	-----	------

ここからは、あなたが上記で答えたよく行くコンビニについて回答してください。

問2 どの時間帯に行くことが1番多いですか。(1つに) n = 89

1. 朝	14.6	2. 昼	11.2	3. 夕方~夜	73.0
無回答	1.1				

問3 何を買うことが多いですか。(1つに) n = 89

1. お弁当などの食料品、飲み物	87.6	2. タバコ	問5へ	9.0
3. 雑貨や本	問5へ	1.1	4. その他	問5へ
無回答	1.1			

問4 具体的に何を買いますか。(あてはまるものすべてに) n = 79

1. お弁当	43.0	2. おにぎり	58.2	3. パン	45.6
4. デザート	38.0	5. ホットスナック	24.1	6. お惣菜	7.6
7. カップ麺類	17.7	8. お菓子	41.8	9. お茶	46.8
10. ジュース(炭酸なし)	41.8	11. ジュース(炭酸あり)	35.4	12. 水	15.2
13. コーヒー	16.5	14. 紅茶	19.0	15. 酒	17.7
16. 栄養ドリンク	12.7	17. その他	0	無回答	1.3

問5 どのくらいの頻度で行きますか。(1つに) n = 89

1. ほぼ毎日	13.5	2. 週5~6回	11.2	3. 週3~4回	40.4
4. 週1~2回	25.8	5. 週1回以下	7.9	無回答	1.1

問6 使う金額は1回あたりいくら程度ですか。(1つに) n = 89

1. 300円未満	11.2	2. 300円以上~500円未満	55.1
3. 500円以上~700円未満	28.1	4. 700円以上	4.5
		無回答	1.1

問7 そのコンビニについてあなたの受け止め方を下記のa~iごとに答えてください。

(各問1つに) n = 89 無回答 a~j すべて 1.1

	1. 良い	2. やや良い	3. 何とも言えない	4. やや悪い	5. 悪い
a. おにぎり、お弁当、パンの品揃え	30.3	43.8	16.9	5.6	2.2
b. ホットスナックの品揃え	27.0	34.0	28.1	7.9	1.1
c. 飲み物の品揃え	29.2	47.2	14.6	6.7	1.1
d. 雑貨、本の品揃え	9.0	21.3	46.1	21.3	1.1
e. お店の雰囲気	13.5	32.6	47.2	4.5	1.1
f. お店の清潔感	12.4	40.4	43.8	2.2	0
g. 店員の接客態度	15.7	36.0	33.7	11.2	2.2
h. 行きやすさ	38.2	42.7	13.5	3.4	1.1
i. 駐車場	24.7	25.8	29.2	10.1	9.0
j. クーポンやセール	13.5	24.7	42.7	11.2	6.7

問8 そのコンビニはどここの系列ですか。(1つに) n = 89

1. セブンイレブン 41.6	2. ローソン 15.7	3. ファミリーマート 22.5
4. サークルKサンクス 5.6	5. ミニストップ 7.9	6. デイリーヤマザキ 2.2
7. その他 3.4	無回答 1.1	

問9 あなたはよく行くコンビニとは別に好きなコンビニ(学内以外)がありますか。

(1つに) n = 105

1. はい 57.1	2. いいえ 問17へ 42.9
------------	------------------

ここからは、あなたが上記で答えたもっとも好きなコンビニについて回答してください。

問10 どの時間帯に行くことが1番多いですか。(1つに) n = 60

1. 朝 3.3	2. 昼 10.0	3. 夕方~夜 85.0
無回答 1.7		

問11 何を買うことが多いですか。(1つに) n = 60

1. お弁当などの食料品、飲み物 81.7	2. タバコ 問13へ 8.3
3. 雑貨や本 問13へ 1.7	4. その他 問13へ 6.7
無回答 1.7	

問12 具体的に何を買いますか。(あてはまるものすべてに) n = 50

1. お弁当 34.0	2. おにぎり 34.0	3. パン 32.0
4. デザート 50.0	5. ホットスナック 34.0	6. お惣菜 10.0
7. カップ麺類 10.0	8. お菓子 30.0	9. お茶 34.0
10. ジュース(炭酸なし) 40.0	11. ジュース(炭酸あり) 28.0	12. 水 16.0
13. コーヒー 18.0	14. 紅茶 22.0	15. 酒 12.0
16. 栄養ドリンク 14.0	17. その他 6.0	無回答 2.0

問13 どのくらいの頻度で行きますか。(1つに) n = 60

1 .ほぼ毎日 5.0	2 .週5～6回 10.0	3 .週3～4回 18.3
4 .週1～2回 26.7	5 .週1回以下 38.3	無回答 1.7

問14 使う金額は1回あたりいくら程度ですか。(1つに) n = 60

1 .300円未満 23.3	2 .300円以上～500円未満 38.3
3 .500円以上～700円未満 26.7	4 .700円以上 10.0
無回答 1.7	

問15 そのコンビニについてあなたの受け止め方を下記のa～iごとに教えてください。

(各問1つに) n = 60 無回答:a～jすべて3.3

	1.良い	2.やや良い	3.何とも言えない	4.やや悪い	5.悪い
a.おにぎり、お弁当、パンの品揃え	38.3	35.0	20.0	3.3	0
b.ホットスナックの品揃え	33.3	33.3	25.0	3.3	1.7
c.飲み物の品揃え	30.0	43.3	18.3	5.0	0
d.雑貨、本の品揃え	11.7	33.3	35.0	15.0	1.7
e.お店の雰囲気	31.7	38.3	25.0	1.7	0
f.お店の清潔感	25.0	45.0	26.7	0	0
g.店員の接客態度	21.7	40.0	31.7	3.3	0
h.行きやすさ	35.0	30.0	23.3	8.3	0
i.駐車場	20.0	23.3	31.7	11.7	10.0
j.クーポンやセール	20.0	16.7	45.0	6.7	8.3

問16 そのコンビニはこの系列ですか。(1つに) n = 60

1 .セブンイレブン 21.7	2 .ローソン 18.3	3 .ファミリーマート 33.3
4 .サークルKサンクス 3.3	5 .ミニストップ 16.7	6 .デイリーヤマザキ 1.7
7 .その他 3.3	無回答 1.7	

ここからは、コンビニ全般について回答してください。

問17 おにぎり、お弁当、パンを買うとき、コンビニを選ぶことがありますか。(1つに) n = 105

1 .選ぶことがある 60.0	2 .選ばない 40.0	問18へ
-----------------	--------------	------

付問1 どこを選びますか。(1つに) n = 63

1 .セブンイレブン 57.1	2 .ローソン 11.1	3 .ファミリーマート 23.8
4 .サークルKサンクス 1.6	5 .ミニストップ 3.2	6 .デイリーヤマザキ 0
7 .その他 1.6	無回答:1.6	

付問2 どのくらいの頻度でそこへ行きますか。(1つに) n = 63

1 .ほぼ毎日 4.8	2 .週5～6回 6.3	3 .週3～4回 22.2
4 .週1～2回 28.6	5 .週1回以下 38.1	

問18 ホットスナックを買うとき、コンビニを選ぶことがありますか。(1つに) n = 105

1. 選ぶことがある 41.9 2. 選ばない 問19へ 58.1

付問1 どこを選びますか。(1つに) n = 44

1. セブンイレブン 11.4 2. ローソン 15.9 3. ファミリーマート 61.4
4. サークルKサンクス 2.3 5. ミニストップ 6.8 6. デイリーヤマザキ 2.3
7. その他 0

付問2 どのくらいの頻度でそこへ行きますか。(1つに) n = 44

1. ほぼ毎日 9.1 2. 週5～6回 13.6 3. 週3～4回 15.9
4. 週1～2回 29.5 5. 週1回以下 31.8

問19 デザートを買うとき、コンビニを選ぶことがありますか。(1つに) n = 105

1. 選ぶことがある 42.9 2. 選ばない 問20へ 57.1

付問1 どこを選びますか。(1つに) n = 46

1. セブンイレブン 21.7 2. ローソン 32.6 3. ファミリーマート 26.1
4. サークルKサンクス 6.5 5. ミニストップ 13.0 6. デイリーヤマザキ 0
7. その他 0

付問2 どのくらいの頻度でそこへ行きますか。(1つに) n = 46

1. ほぼ毎日 0 2. 週5～6回 4.3 3. 週3～4回 17.4
4. 週1～2回 30.4 5. 週1回以下 47.8

問20 自炊はしますか。(1つに) n = 105

1. よくする 24.8 2. たまにする 27.6 3. あまりしない 25.7
4. ほとんどしない 21.0 無回答: 1.0

F1. 性別を教えてください。(1つに) n = 105

1. 男 39.0 2. 女 61.0

F2. 出身地を教えてください。(1つに) n = 105

1. 北海道 1.0 2. 東北 12.4 3. 中部 15.2
4. 関東 66.7 5. 近畿 1.0 6. 四国・中国 0
7. 九州・沖縄 2.9 8. 海外 1.0

F3. 世帯状況を教えてください。(1つに) n = 105

1. 実家暮らし 47.6 2. 一人暮らし、その他 52.4

これで調査は終わりです。ありがとうございました。